



高等学校

高等学校のキャリア教育＝「現実的探索・試行と社会的移行準備の時期」

「高等学校の段階は、自らの将来を真剣に考え、それに必要な情報を取捨選択・集積・分析し、熟慮の上に責任を持った判断をする過程を経験させることが必要である。そのため、それぞれの学校に在籍する生徒の発達段階を見極めつつ「基礎的・汎用的能力」の育成を目指した具体的なキャリア教育の目標を設定することが大切である。」

(文部科学省「高等学校 キャリア教育の手引き」)

年度当初等：例示資料「一年を見通し、振り返る」、「学期を見通し、振り返る」

高1 高2 高3・4～

卒業年度：例示資料「小学校から高等学校までを振り返る」、「卒業年度を見通し、振り返る」



大学・短大
専門学校
社会人等

高等学校で身に付けたい
思考のサイクル

小・中・高をとおしての
自分の成長を振り返る

自分のよさ・強み、成長
させたいところを確認する

卒業後の
自分の生き方
をイメージする



★ パスポートを「つなぐ」 ★

「小学校から高等学校までを振り返る」

小・中学校から引き継いだキャリア・パスポートも参考にしながら、「足跡」を整理し直すことで、より深い振り返りができていることを実感し、自分の強みをより具体的に整理することにより、それらの能力が発揮できる卒業後の進路や生き方を見通していくことにつながります。

卒業年度：例示資料

小学校から高等学校までを振り返る

○自分自身のこれまでを振り返って

(小学校) 一番心に残っていること

(中学校)

進路指導での活用も考慮し、作成時期は卒業年度の7月ごろを想定しています。就職・進学に向けた志願理由書等の作成に当たってのラフスケッチ的な位置づけとして活用できます。

卒業年度を見通し、振り返る

○1年後の自分を想像しよう。

どんなふうになっていたか(目指す進路や)

○1年後に向けて、いつ、何に取り組むかを

4月	7月	9月	11月	1月	3月	4月
						卒業

卒業年度については、将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりすることを特に意識しています。

具体的に何に取り組むか	どのように取り組むか	記入日 年 月 日 進捗状況確認(9月頃)

○1年間の振り返りをまとめよう。

何に取り組んできたか	記入日 年 月 日 どのような点がよかったと思うか (成長できたと思うか)

○卒業後の自分について、どんな自分になりたいか(将来どんな生き方をしたいか)を考えよう。

先生との対話から気付いたこと、考えたこと

★ パスポートを「進路選択」に活用！ ★

これまでのパスポートを整理し、自分の興味・関心等の個性を理解し、それらが発揮できる進路選択を行えるように指導していきます。進学を考えている生徒もその先の就職を見据えて、進路を自らの意思と責任で選択し、決定していくことができるよう、指導していくことが重要です。

★ パスポートを応援ツールに！ ★

パスポートで学びの履歴を積み重ねていくことで、進路決定は、自分自身の意思や、先生・保護者等の客観的な視点に裏付けされた「自分のよさ」に後押しされているということを実感できます。

自分自身の在り方・生き方や進むべき方向性とその具体的な選択肢について探索・試行し、常に将来設計や目標を修正して、自己実現に向けて努力していけるように指導していくことが大切です。

学年に応じて同様に取り組みます。